

婚活・少子化対策事業について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 少子高齢化は人口減少に拍車をかけている。地域が継続的に繁栄していくために、少子化対策は加西市のみではなく、日本にとって喫緊の課題である。そこで、婚活事業のこれまでの経過と成果についてお尋ねしたい。

答 婚活を民間事業者に委託する①カップリング民活事業と、市が婚活事業を行う場所や物件を提供する②婚活コラボ事業の2本立てで進めています。
①カップリング民活事業では、

H25年度(3回)は20組(男性111名、女性80名参加)、H26年度(5回)は、23組(男性83名、女性77名参加)のカップルが成立しました。

②婚活コラボ事業では、H25年度(2回)に17組(男性48名、女性41名参加)、H26年度(2回)は7組(男性41名、女性33名参加)成立しており、結婚されたカップルがあるかもしれませんが、現時点での報告はありません。

問 少子化対策も含めた今後の計画について。

答 地域創生戦略の目標の一つに人口増対策として、安心して結婚、出産、子育てができる環境をつくることを位置付け、積極的に自然増対策を実施していく計画となっています。

具体的には、子育て支援施策をはじめ、住宅供給、あるいは就労

支援といった幅広い施策を今後5年間で集中的に実施し、まず子育て世代等の社会増を図り、結果として合計特殊出生率の分母となる女性の増加につなげていきたいと考えています。

今後は具体的な予算規模や事業効果に十分配慮しつつ、自然増対策につながるよう効果的な事業実施を検討していきたいと考えています。

提案 現在、晩婚化が少子化の一因になっていると考える。結婚平均年齢が男女合わせて60歳くらいだが、平均よりも若く結婚したカップルには市から経済的な支援をするというのはいかがか。

■その他の質問項目

- ・ふるさと納税業務委託について
- ・地域主体型公共交通について

未来型児童館について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 市長の公約である未来型児童館の整備状況について。

答 市街地のアクセスの良い場所に、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援を行い、乳幼児や小学生も含めた子供の遊び場や居場所づくりのための施設整備を考えており、現在、庁内関係部署における協議と、国庫補助金の活用を図るために、県を通じて国との調整をしているところです。

また、12月中に幼児園等の保育施設を利用する保護者に対して

アンケートを実施し、子ども・子育て会議に諮って施設の概要等をまとめ、今年度末には新たな児童館構想の原案ができて上がる見込みです。

問 市内全域から子供たちを含む若い家族が集まり、ゆったり時間を過ごせる所、また、幼稚園、小学校の低学年ぐらいの子供たちが遠足等で来て、遊びながら加西市の歴史文化を学び、高齢者とも自然に交流ができる場所が子育ての拠点として理想的である。

そうすると、大型遊具と広い土地のある玉丘史跡公園に、未来型児童館、グラウンドゴルフ場、そして、地域創生戦略の根日女の森アート空間を持つてくることも考えられる。

大勢の人が遊び、勉強し、芸術、スポーツを楽しめる所に子育ての拠点施設があるのは理想的環境だと思うがいかがか。

答 玉丘史跡公園は市街地に近く、広大な土地もあることから、整備が行いやすい好条件の場所と考えています。立地場所については、児童館以外の機能についても、どのようなものを併設すればより多くの市民にご利用いただけるかということ、そして保護者アンケートや議員のご提案を含め、幅広くご意見を伺いながら総合的に判断し、適切に選定したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・グラウンドゴルフ場の整備について
- ・小中学校の懸念される問題について
- ・保育料・幼稚園保育料の無料化について
- ・北条鉄道活性化及び人口増施策等について